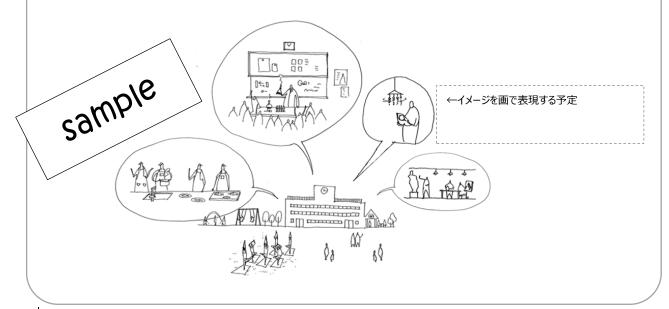
学校

■ 再編後の将来イメージ

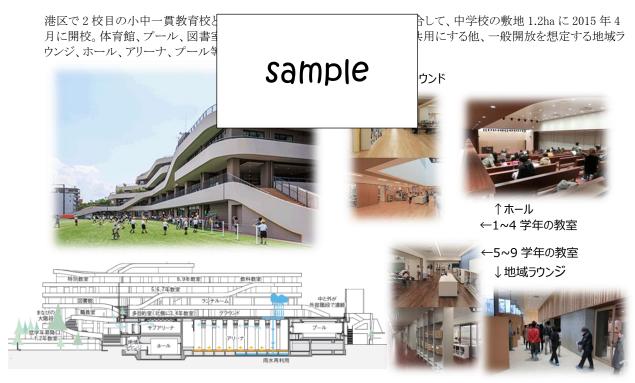
(ねらい)

• 児童・生徒数の減少に併せて**適正な学校規模を維持**するとともに、**地域の拠点**となり、**多世代で多様な人々の 交流や公益的なサービスが展開される場**としていきます。



他自治体の例など

▶ 港区立小中一貫教区校 白金の丘学園(白金の丘小学校・白金の丘中学校)



将来イメージを実現するにあたって

〔現状・課題〕 前回の振り返り

- ・ 公立学校の教育施設として必要不可欠であり、今後も適切に維持していく必要がありますが、高度成長期に整備された大 半の施設が一斉に老朽化し建替えの時期を迎えることが見込まれています。建物の長寿命化を図るためには、築 40 年前 後で大規模な改修が必須であり、計画的に施設の更新を進める必要があります。また、屋外プールや給食室についても老 朽化が著しいことから、学校施設の在り方や更新についての抜本的な検討、対応が必要です。
- ・ 町田市の人口推計では、今後 40 年間で、年少人口が約 1 万 9 千人減少することが想定されており、建替えや改修にあたっては、適正規模・適正配置の観点を踏まえるとともに、地域の身近な公共施設、地域の拠点となるような学校の実現に向けた検討が課題となります。



■ 今後の方向性

- 建物の大規模改修や建替えを計画的に実施する。
- 段階的に必要な適正規模・適正配置を実施する。
- 教育活動で使用しない教室数の状況や建物の大規模改修・建替えの時期を捉え、周辺の公共施設等の複合化を実施する。
- 教室の未利用時間の積極的な活用を図る。

具体的な取り組みの時期

短期 (2018年~2026年)→最初の9年間

- AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA

中期 (2027年~2036年)

長期 (2037年~2055年)